

## 専門実践教育訓練明示書

講座の名称	専攻科福祉専攻		
実施方法	① 通学 ( <u>昼間</u> ・夜間 ・土日 ) ② 通信 スクーリング(回数 回)		
指定講座番号	7 3 0 6 8 - 1 7 1 0 0 1 - 3		
講座の創設年月日	専門実践教育訓練給付金対象講座の定期間	過去一年の講座実績	入講者数( 3 人)
年月日	平成32年 3月 31日まで		修了者数 ( 3人)
訓練期間	12ヶ月		総訓練時間 935時間
<b>1. 教育訓練目標</b>			
①取得目標とする資格の名称、目標レベル	<input checked="" type="checkbox"/> 業務独占資格・名称独占資格 (介護福祉士 ) <input type="checkbox"/> 職業実践専門課程 ( ) <input type="checkbox"/> 専門職学位 ( ) 教育訓練を通じて取得を目指す上記以外の資格等		
②①に係る資格・試験等の実施機関名称	厚生労働省		
③当該資格等を取得するための要件または受験資格等	厚生労働大臣の指定する保育士を養成する大学、短期大学及びその他の施設において、保育士の資格を取得した者で、本専攻科福祉専攻で45単位を修得し修了を認定した者		
④当該技能・知識の習得が必須又は有利となる職種・職務及び習得された技能・知識が活用されている業界と活用状況	介護福祉士、生活相談員 老人福祉施設、介護老人保健施設、在宅福祉サービス、障害者支援施設、通所サービス、重度心身障害者施設において介護職として活用される。		
<b>2. 教育訓練の内容</b>			
教科 (カリキュラム)	時間	使用教材名	
介護福祉制度	12時間	人間と社会	
介護福祉基礎学1	22.5時間	介護の基本Ⅰ 介護の基本Ⅱ 人間の理解 七訂介護福祉用語辞典	
介護福祉基礎学2	22.5時間	介護の基本Ⅰ 七訂介護福祉用語辞典	
介護福祉基礎学3	45時間	人間の理解 社会と制度の理解	
介護福祉基礎学4	45時間	介護の基本Ⅱ 介護過程	
コミュニケーション技術1	22.5時間	人間の理解	
コミュニケーション技術2	22.5時間	コミュニケーション技術 「聴さんと学ぼう！」今すぐはじめる手話テキスト	
生活支援技術1	45時間	生活支援技術Ⅱ 生活支援技術Ⅲ	
生活支援技術2	45時間	生活支援技術Ⅱ 生活支援技術Ⅲ	
生活支援技術3	22.5時間	アクティビティ・サービス-心身と生活の活性化を支援する	
生活支援技術4	22.5時間	生活支援技術Ⅰ 生活支援技術Ⅱ 生活支援技術Ⅲ	
生活支援技術5	67.5時間	生活支援技術Ⅰ ころとからだのしくみ 介護の基本Ⅱ	
生活支援技術6	22.5時間	生活支援技術Ⅱ 高齢者介護施設の看取りケアガイドブック	
介護過程1	22.5時間	介護過程 七訂介護福祉用語辞典	
介護過程2	45時間	介護過程の展開 基礎的理解と実践演習	
介護過程3	22.5時間	介護過程 介護の基本Ⅱ	
介護過程4	22.5時間		
介護総合演習1	22.5時間	介護総合演習・介護実習	
介護総合演習2	22.5時間	介護総合演習・介護実習	
介護実習	157.5時間		
発達と老化の理解	22.5時間	発達と老化の理解	
認知症の理解	45時間	認知症の理解	
障害の理解	22.5時間	障害の理解	
ころとからだのしくみ	45時間	ころとからだのしくみ	
医療的ケア	22.5時間	医療的ケア	
医療的ケア	45時間	医療的ケア	
<b>3. 受講者となるための要件 (この講座を受講するために必要とされている条件など)</b>			
①受講するに当たって必要な実務経験等	特になし		
②受講者が受講に最低限有しておくべき資格・技能・知識等の内容及びその水準	厚生労働大臣の指定する保育士を養成する大学、短期大学、その他の施設を卒業し、保育士資格を取得している者		
③その他	特になし		
<b>[ 特記事項 ]</b>			

# 専門実践教育訓練明示書

## 4. 教育訓練の受講の実績及び目標達成の状況

### (1) 資格取得状況

① 前年度の修了者数	3	人			
② ①に係る教育訓練の入講者数	3	人			
③ ②のうち目標資格の受験者数	3	人	受験率(③/②)	100.0	%
④ ③のうち合格者数	3	人	合格率(④/③)	100.0	%
⑤ ②(入講数)のうち就職者数 ※1	3	人			
⑥ ②(入講数)のうち在職者数 ※2	3	人	就職・在職率(⑤+⑥/②)	100.0	%

※1 前年度の修了者のうち、受講開始時に職に就いていなかった者で修了後に就職した者。

この場合、就職したとは、臨時的な仕事に就職した者は含めない。

※2 受講開始時に既に職に就いていた者で、卒業後も引き続きその職にある者及び受講開始時に既に職に就いている者で、修了後に別の職に転職した者。

### (2) 受講修了者による講座の評価等

① 回答者総数	3	人			
② 受講開始時の就業状況等	1 正社員	0	人	②A: 就業者計	3
	2 非正社員、派遣社員	0	人		
	3 その他の就業(自営業等)	0	人		
	4 学生	3	人	②B: 非就業者計	0
	5 求職中	0	人		
	6 その他(主婦、無職等)	0	人		
③ 就業中の受講者による講座の評価	1 処遇の向上(昇進、昇格、資格手当等)に役立つ	1	人	③の回答数合計 ※②Aと同数(又はそれ以下)	3
	2 配置転換等により希望の業務に従事できる	1	人		
	3 社内外の評価が高まる	0	人		
	4 円滑な転職に役立つ	1	人		
	5 趣味・教養に役立つ	0	人		
	6 その他の効果	0	人		
	7 特に効果はない	0	人		
④ 就業していない受講者による講座の評価	1 早期に就職できる	0	人	④の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下)	0
	2 希望の職種・業界で就職できる	0	人		
	3 より良い条件(賃金等)で就職できる	0	人		
	4 趣味・教養に役立つ	0	人		
	5 その他の効果	0	人		
	6 特に効果はない	0	人		
⑤ 受講者の就業状況	1 受講中又は受講修了後3か月以内に就職した	3	人	⑤の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下)	3
	2 受講修了後3～6か月以内に就職した	0	人		
	3 受講修了後6～12か月以内に就職した	0	人		
	4 就職していない	0	人		
⑥ 講座の全体評価	1 大変満足	1	人	⑥の回答数合計 ※①と同数(又はそれ以下)	3
	2 おおむね満足	2	人		
	3 どちらとも言えない	0	人		
	4 やや不満	0	人		
	5 大いに不満	0	人		

## 5. 教育訓練の受講による効果の把握及び測定の方法並びにそのレベルを受講者に対して明らかにするための具体的な方法

1に掲げた教育訓練目標に対する技能・知識のレベル到達度の把握・測定方法

講義、演習ならびに実習等のレポートや試験結果を総合評価するとともに、卒業時共通試験を実施し到達度を把握する。

(通信制講座の場合)

スクーリングの実施場所、時期、期間・回数

# 専門実践教育訓練明示書

<b>6. 受講効果の把握方法</b>															
(1) 受講認定基準 (6ヶ月ごとの出席率・定期試験、進級試験等の具体的基準)	3分の2以上(実習においては5分の4以上)の出席率及び各科目の評価は当該授業担当による定期試験及びレポート試験・発表による。														
(2) 受講認定基準に係る、教育目標に対する技能・知識のレベル到達度把握・測定方法	技能・知識の到達度についてはレポートや試験等により総合的に評価し、把握する。														
(3) 修了認定基準 (出席率・修了認定試験等の具体的な基準)	本学に1年以上在学し、4領域(人間と社会(1単位)・介護(34単位)・こころとからだのしくみ(7単位)・医療的ケア(3単位))の合計45単位を取得し、試験に合格する事。														
(4) 修了認定基準に係る、教育目標に対する技能・知識のレベル到達度把握・測定方法	介護過程の個別ケアの展開・発表による総合評価														
<b>7. 受講中又は修了後における受講者に対する指導及び助言並びに支援の方法</b>															
(1) 受講中の者に対する習得度・理解度に関する具体的な助言・指導の方法	一連の実習を通して、介護の個別ケアの展開、実習成果の発表を目指す。課題の探求、計画の立案・実施。また結果・実施内容の評価及び考察までの一連の実習成果の発表を行い必要におおじて個別指導等学生の進捗状況に合わせて行う。														
(2) 受講中又は修了時における資格取得・就職への具体的なバックアップ体制 (例: 資格取得関連情報や資格関連職種の人事情報の提供方法、早期就職に向けた具体的な相談体制の整備状況)	専門職員(キャリアセンター)による求人情報の提供														
<b>8. その他の事項</b>															
指定教育訓練実施者名 及び代表者名	学校法人 藤ノ花園 (代表者名: 理事長 伊藤 晴康)														
住所及び連絡先	愛知県豊橋市老松町109番地 TEL 0532-61-5468														
施設名称及び施設長名	豊橋創造大学短期大学部 (学長: 伊藤 晴康)														
住所及び連絡先	愛知県豊橋市牛川町松下20-1 TEL 0532-54-2111														
苦情受付者	氏名 遠山 直人 所属 教学部課長	事務担当者	氏名 村上貴子 所属 専攻科福祉専攻												
連絡先	TEL 050-2017-2155	連絡先	TEL 050-2017-2186												
専門実践教育訓練経費 支払い方法	1. 専門実践教育訓練給付金の対象となる経費 (① + ②) 900,000 円														
① 一括払	① 入学料(税込額) (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。)	250,000 円													
② 分割払	② 受講料(税込額) (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。)	<table style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><td>第1期</td><td>325,000 円</td></tr> <tr><td>第2期</td><td>325,000 円</td></tr> <tr><td>第3期</td><td>円</td></tr> <tr><td>第4期</td><td>円</td></tr> <tr><td>第5期</td><td>円</td></tr> <tr><td>第6期</td><td>円</td></tr> </table>		第1期	325,000 円	第2期	325,000 円	第3期	円	第4期	円	第5期	円	第6期	円
第1期	325,000 円														
第2期	325,000 円														
第3期	円														
第4期	円														
第5期	円														
第6期	円														
③ 両方可能	(うち、必須教材費 0 円)														
	2. 専門実践教育訓練給付金の対象外となる経費 (① + ② + ③ + ④) 417,748円														
	① 任意の教材費(税込額)	62,748 円													
	② 実習等に伴う交通費・宿泊費(税込額)	0 円													
	③ 施設維持費(税込額)	250,000 円													
	④ その他(法人への寄付金、PCの損害保険料、情報誌代)(税込額)	105,000 円													
	3. 総額 (1+2) (税込額) 1,317,748 円														